

私が**太鼓判**を押します！

ご無沙汰しています。今年も残すところあと10日となりました。暑かった引渡しの日からあつという間に4ヶ月半。月日が経つのが早いです。江原社長、蓬田様、柴山様、湯山様、事務所の皆様方お元気に過ごされていることと存じます。この度は、私達のマイホーム建築では大変お世話になりまして、本当にありがとうございました。

この一年は今までで、一番早く時が過ぎたように思います。1月に私達が真剣にマイホームのことを考え始めた時、江原工務店さんの折込チラシが目にとまり、建設中のお家を見学させてもらうことから始まりました。自分の目で見て、使われている材料の品質の確かさを実感しました。そして、蓬田さんや社長が丁寧に説明してくれたこと、大変印象深く心に残りました。社宅の退出期限が迫っていたことも事実ですが、その日家に帰り、「江原工務店さんに私達の家を建てて貰おう」と、ほぼ心に決めました。他のところとは、まったく検討もしていませんでしたが、今ではこれで正解であったと確信しています。

見学会で、注文住宅を建てるには5ヶ月が必要だと初めて知りました。土地探しから始まり、家の引渡し日が7月27日に決まりましたが、社宅からの退出期限4日前という慌しさでした。設計相談では、決めた事が家に帰ってもう一度考えると、やはり違うほうが良いと思直し変更もありましたが、よく相談に乗って頂きました。あれこれ悩むことが多く、自分でも何が良いのか判らなくなった事もありました。そんな時柴山さんが、「これで行きましょう」「これがいいです」という提案に背中を押してもらい、自分でも納得する事が出来て、大変楽しい時間を過ごせました。後で妻と二人で、「柴山さんの推進力はすごいね」と話していました。

暮らし始めてから今まで、やや大きな地震がありました。揺れ方にまったく不安は感じられない丈夫な作りです。また風の強い日に、カーポートの屋根が20～30cm煽られましたが、家はピシリとも言わない安心感のある、頑丈な家だなど感じています。「こち」仕様の、天然素材の珪藻土の塗り壁、和紙の壁紙、パイン材の床板など心地良さを体感しています。特に、リビングの化粧梁は訪れた皆さんに褒めていただいております。又、先日はアフターの森田さんには、吊り戸棚不具合の件では迅速な対応をしていただきまして感謝しています。

秋の長雨で外溝工事が10月上旬にやっと完成したことで、ようやくほっとできました。その後庭に家庭菜園のための仕切りブロックを自分で敷設し、春物野菜を栽培し始めたところです。ぜひ一度、見にいらしてください。

毎月お送り頂いている「家づくりワンダフル！e-便り」は、役に立つ盛り沢山の情報と、皆様のご活躍の様子を思い浮かべながら楽しみに読ませて頂いております。それから江原社長執筆の「小田原で家づくりをするなら」出版おめでとうございました。最後に、江原社長さん率いる「チーム江原工務店」の皆様の更なるご活躍を心からお祈り申し上げます。



しあわせ家族設計室
株式会社 江原工務店